

教育課程編成・実施の方針（CP）・卒業認定・学位授与の方針（DP）

教育課程編成・実施の方針（CP）（カリキュラム・ポリシー）

本学では、卒業認定・学位授与の方針（DP）および修了方針に掲げる目標を達成するために、学科・専攻科ごとに教育課程を体系的に編成し、科目を配置する。教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定める。

<教育内容>

1. 心身ともに健康かつ文化的に豊かな人生を送るために必要な知識・技能に関わる分野の科目を配置する。
2. 「子ども」に関する幅広い専門知識と実践力を備え、基本的な内容から応用・発展的な内容まで体系的に学べるように科目を配置する。

<教育方法>

1. 講義形式の授業とともに、学生の主体的な学びを引き出すために少人数授業、習熟度別授業、双方向的・学生参加型授業、課題解決型授業等の多様な授業形態を取り入れた教育方法を実施する。
2. 学外実習等の体験的な学習活動を実施する。

<教育評価>

1. 各授業は、シラバスによって明確化された到達目標と成績評価基準に従い、単位を付与する。
2. 学修成果は、卒業要件の各区分単位を満たすことを含め、総合的に評価する。

子ども健康学科

子ども健康学科では、卒業認定・学位授与の方針（DP）に掲げる目標を達成するために、教養教育科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置する。

教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定める。

<教育内容>

1. 幅広い教養の習得をめざす科目群のほか協調性・自己理解力・判断力の獲得のためのキャリア支援科目を加えた教養教育科目を配置する。
2. 子どもの発達支援及び健康の維持増進に関する専門的知識・技能を獲得するための専門教育科目を配置する。
3. 専門教育科目は、全学共通の基礎科目と、進路に応じて「発達支援領域」、「健康支援領域」のいずれかに軸足をおきながら両領域の知識・技能を修得するよう基幹科目及び教職関連科目を配置する。
4. 専門的な知識と技能をより深く理解できるように演習・実習の科目を適切に配置する。

<教育方法>

1. 主体的・能動的な学修態度を育むために、学生参加型学習、グループワークなど双方向型の教育方法を実施する。
2. 講義・演習・実習の授業形態に応じて、アクティブ・ラーニングを取り入れ、協調性を身に付けるとともに、課題解決能力を育成する。
3. 学外実習などの体験的な学習活動を実施する。

<教育評価>

1. 各授業は、シラバスによって明確化された到達目標と成績評価基準に従い、単位を付与する。
2. 2年間の学修成果は、卒業要件の各区分単位を満たしたことにより認定する。

卒業認定・学位授与の方針（DP）（ディプロマ・ポリシー）

本学は、学是「自律処行」の精神に基づき、自ら課題を発見し、解決に向けて立案した方策を実行して社会に貢献できる、豊かな人間性と高い倫理性を備えた女性を育成することを目指す。

その実現のために、卒業認定・学位授与の方針（DP）を3つの領域（知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・協調性・倫理性）から構成する。子ども健康学科の課程を修め、規定する期間以上在学し、卒業要件を満たした学生に対して、卒業を認定し、短期大学士の学位を授与する。また、専攻科子ども健康学専攻の課程を修め、規定する期間以上在学し、修了要件の単位を満たした学生に対して、修了証書を授与する。

<知識・技能>

社会人に相応しい教養および専攻する学問分野における基本的な知識を体系的・構造的に理解するとともに、学んだ知識や自己のあり方等について、文化、社会、自然等と関連づけて身に付けている。

<思考力・判断力・表現力>

多様なコミュニケーション能力を用いて他者と円滑にコミュニケーションができ、地域や社会における課題に取り組むため課題発見・解決能力、論理的思考力を身に付けている。

<主体性・協調性・倫理性>

高い倫理性をもって自らを律し、自己の良心や社会のルールに従って行動できるとともに、多様な人々と積極的かつ効果的に協調・協働して行動できる。さらに、地域や社会の一員としての意識を持ち、その改善や発展に向けて貢献しようとする協働力を身に付けている。

子ども健康学科

子ども健康学科では、教育や保育の場において求められる知識・技能・態度等をもとに自ら課題を発見し、解決に向けた方策を立案し実行することを目指す。

この基本理念のもとに、以下の基準を満たした学生に卒業を認定し、短期大学士の学位を授与する。

<知識・技能>

1. 幼稚園教諭、保育士、養護教諭として相応しい教養を身に付けている。
2. 教育者、保育者として子ども一人一人の特性を理解し尊重しながら、育ちを支え、体と心の健康、安全を守ることができる専門的知識と技能を身に付けている。

<思考力・判断力・表現力>

1. 専門的な知識、技能を十分に活用して、保育や教育・子育て支援の場で対応できる思考力、判断力、表現力及びコミュニケーション能力を身に付けている。
2. 教育・保育に関する課題に取り組むための課題発見・解決能力、論理的思考力を身に付けている。

<主体性・協調性・倫理性>

1. 子どもと保護者の立場に立ってその気持ちを受容し、理解し、共感しようとする態度を身に付けている。
2. 教育者、保育者の役割と責任を認識し、自ら成長し向上して責任を果たそうとする情熱と意欲を持ち、社会への奉仕の精神、人に対する優しさと思いやりを身に付けている。
3. 教育者、保育者として高い倫理性をもって自己の良心や社会のルールに従い、多様な人々と協力して、地域や社会の発展のために主体的に貢献できる力を身に付けている。